

Sergej O. Prokofieff  
Was ist Anthroposophie?

# 人智学とはなにか

セルゲイ・O・プロコフィエフ  
和田悠希／遠藤真理 訳

人智学はその方法論においても、またそこから生じる現実社会での様々な応用結果に関しても、復活の科学とよぶことができます。その科学の道が目指しているのは復活の認識であり、それとの関わりなのです。  
(本文より)

\*

復活体には二つの側面があり、一つは原初の土星紀の人間のあり方(アルファ)に由来するファントムです。もう一つは人類の未来(オメガ)とつながる復活体です。キリストの言葉「私はアルファであり、オメガである」は復活体において完全に具現化しました。  
(解題より)

ロシアの魂を受け継ぐ異邦の人智学者、2014年7月に急逝したプロコフィエフが遺した至宝のような断章——  
現代の危機的状況を克服する人間本性の主体的発達を秘教的キリスト認識に結びつけながら、いまを生きるすべての人に希望と光を与える

人智学とはなにか——

それは、自分自身の来し方、行く末を問うことである。故プロコフィエフが私たちに遺した人間の本质である復活体を問う名著。

A5変型 96ページ  
定価 2200円+税  
ISBN978-4-903865-32-4



セルゲイ・O・プロコフィエフ

1954年モスクワ生まれ。モスクワ芸術大学で美術を専攻。若年時にシュタイナーの著作にふれ、決定的な影響を受ける。共産主義崩壊後、ロシアにおける人智学協会創設メンバーの一人。2001年復活祭にゲーテアヌムの理事に就任。著書に『12聖夜と霊的ヒエラルキー』(1986)、『そして地球が太陽になる』(2012)等、多数。翻訳された著書として『赦しの隠された意味』(2011年、涼風書林)がある。2014年他界。